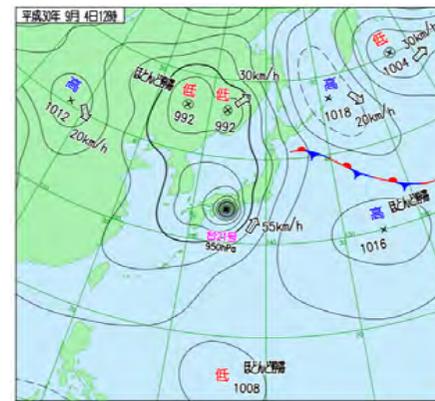
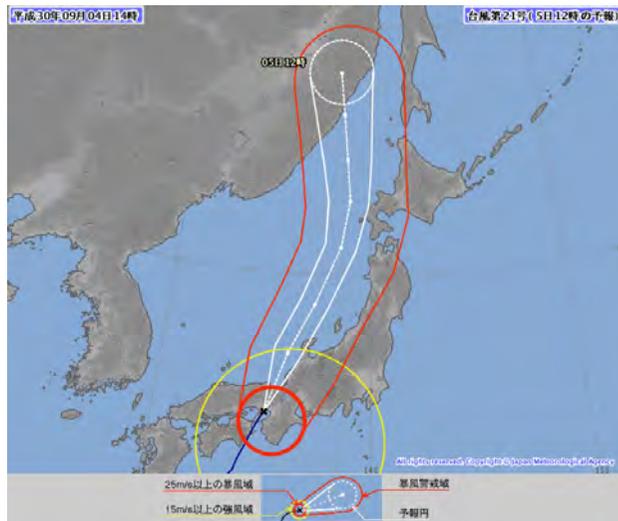


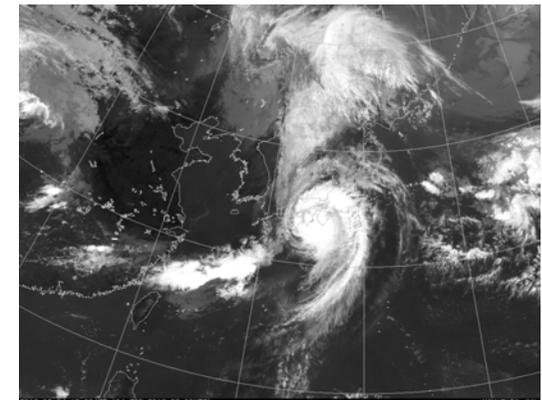
新豊根ダム 洪水調節効果【速報版】

※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正また追加をすることがあります。

台風21号の影響により、台風を取り巻く発達した雨雲が東日本と西日本の広い範囲にかかり、広範囲に非常に激しい降雨をもたらし、各地で記録的な豪雨となりました。

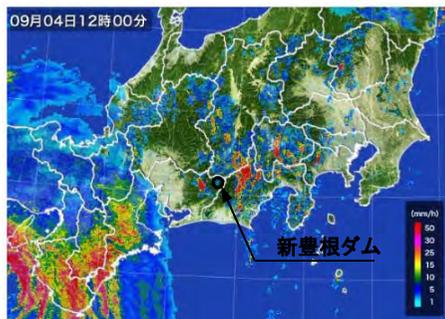


天気図(9月4日12時00分)

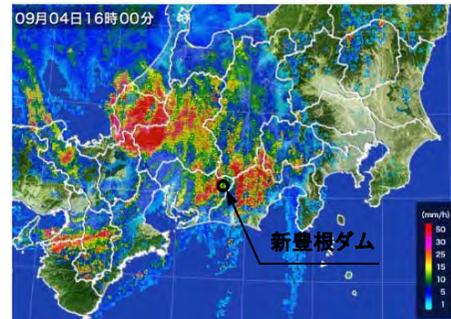


気象衛星(9月4日12時00分)

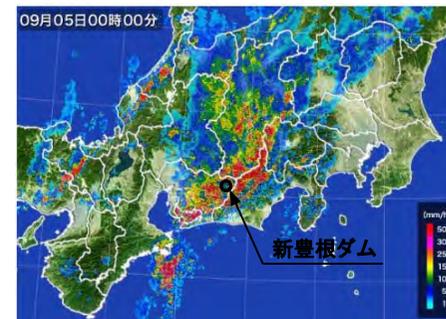
レーダー雨量



9月4日12時00分



9月4日16時00分



9月5日00時00分



9月5日2時00分

新豊根ダム 洪水調節効果【速報版】

※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正また追加をすることがあります。

1. 概要

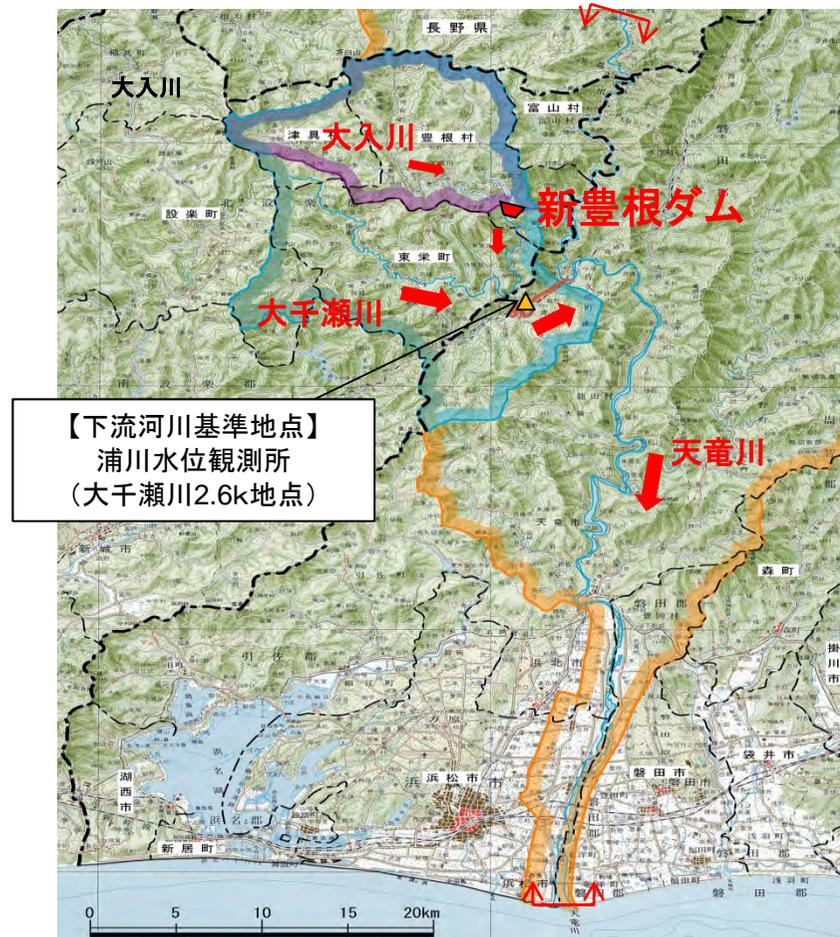
9月4日からの台風21号による豪雨により、新豊根ダム流域の平均雨量は、総雨量252.1mm(4日0時～5日6時)、時間最大雨量は流域平均29mm(4日14時～15時)でした。

この出水に対して、新豊根ダム(天竜川水系大入川)が防災操作を行い、下流地域に対して、以下のような効果がありましたので、お知らせします。

(1) 最大流入量が約580m³/s(5日00時40分 ※10分毎のデータ)あり、この時点において約550m³/sをダムに貯留しました。

(2) 防災操作により、ダム下流の浦川地点(水位観測所)の水位は、4.92m(5日2時40分)となりました。もしダムがなかった場合、浦川地点において、最大で水位が約120cm上昇していたものと想定されます。

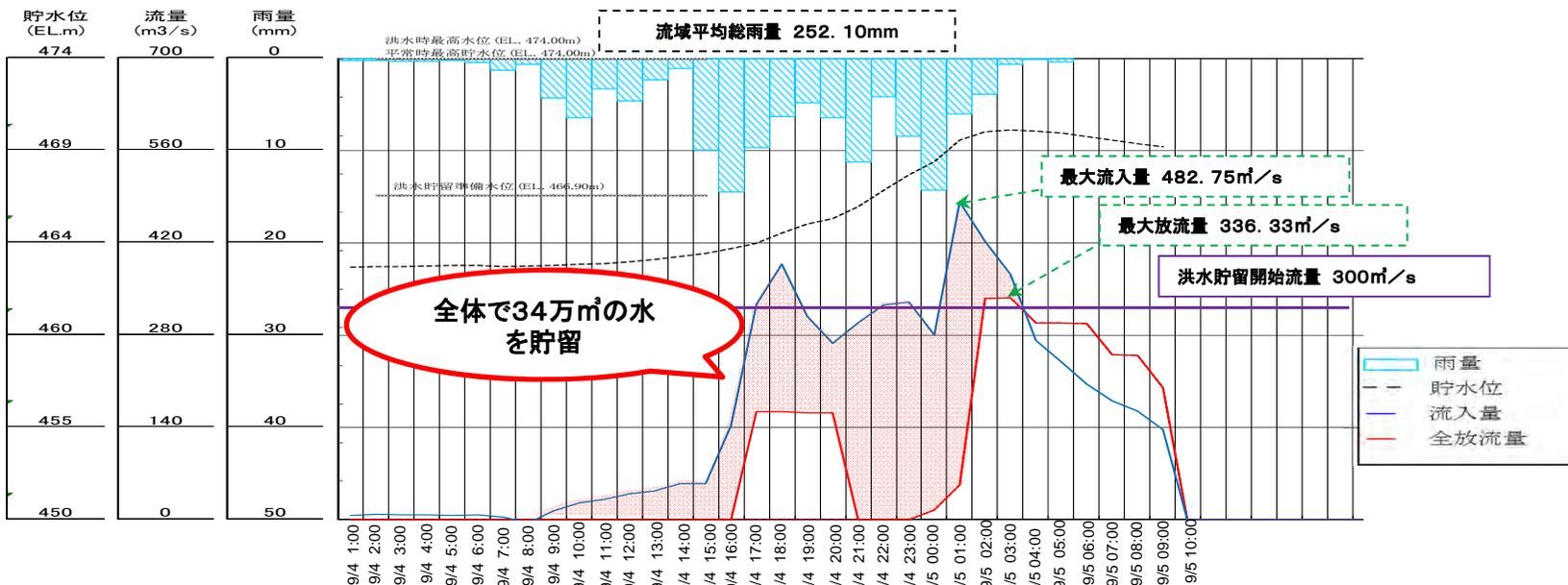
2. ダム・水位観測所位置図



新豊根ダム 洪水調節効果【速報版】

3. 台風21号における新豊根ダムの防災操作状況

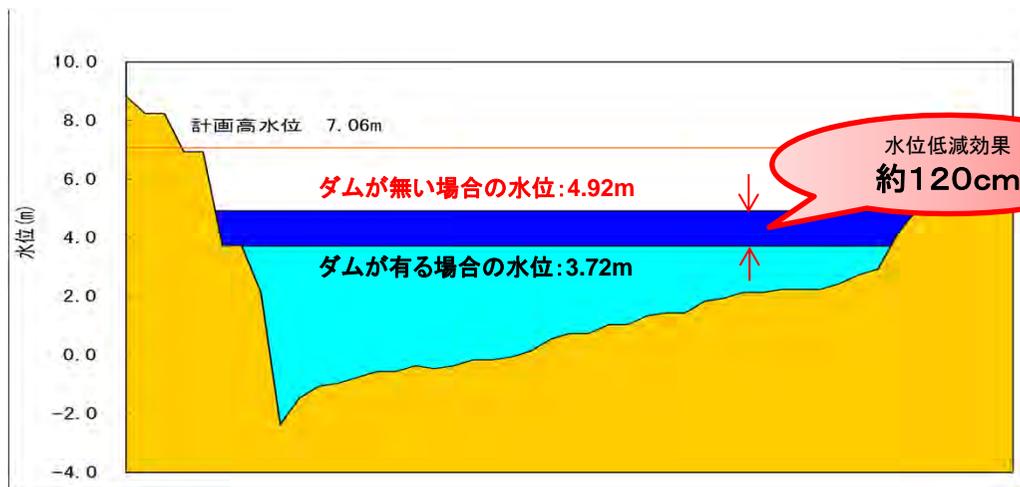
※本資料の記載数値は「速報値」のため、後日一部訂正また追加をすることがあります。



※上記グラフの数値は、1時間あたりの平均値にて作成しております。

4. 浦川水位観測所における新豊根ダムの防災操作における水位の低減効果

ダムの防災操作により、ダム下流河川（浦川水位観測所地点）の水位を約120cm低減することができました。



ダムがない場合の水位
約4.9m

ダムがある場合の水位
約3.7m

約120cmの
水位低減！！